

名寄保健所在宅医療提供体制強化事業
「市民公開講座」

映画

エンディングノート

熱血営業マンとして高度経済成長期に会社を支え駆け抜けたサラリーマン・砂田知昭。健康診断で末期胃ガン発見。残される家族のため、そして人生総括のために、最後のプロジェクトとして課したのは「自らの死の段取り」と、人生の集大成とも言える“エンディングノート”の作成。自分の人生のエンディングをどのように準備するか、誰もが通る道。映画を通して考えてみませんか。

エンディングノートとは？

「もしも」の時に備えた遺書のようなもの。
自分の思いや願いなどを書き残す、公的な効力を持たない家族への覚書のようなもの。



(C) 2011「エンディングノート」製作委員会 監督：砂田麻美製作・
(C) 2011「エンディングノート」製作委員会プロデューサー：是枝裕和

平成28年11月23日(祝) **参加無料**
13:05～15:00

名寄市民文化センター

送迎バス運行します(定員55名)
11:45発 健康センター

電話でお申し込み下さい

健康福祉課
地域包括支援センター
34-3955

在宅医療提供体制強化事業とは

名寄保健所を中心に上川北部の自治体が参画し、在宅医療の構築・訪問診療支援・多職種連携協議会の運営を通じ地域の在宅医療の提供体制を強化することを目的として実施します。

主催 上川北部圏域在宅医療推進ネットワーク協議会

共催 士別市、名寄市、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町

後援 名寄地区ケアマネジメント研究会、士別地区ケアマネジメント研究会

北海道看護協会上川北支部、名寄市社会福祉協議会